

令和6年度調査研究事業 「特別支援教育における主体的・対話的で深い学びを実現するためのICT機器の利活用に関する研究」

県総合教育センター特別支援教育部

1 研究の概要

文部科学省「各教科等の指導におけるICTの効果的な活用について」（令和2年9月）では、自立活動の視点にICTの活用を明記している。また、「第3次千葉県特別支援教育推進基本計画」では、障害のある子供たちのICTの効果的な利活用により、学びをどう深めるかが、喫緊の課題であるとしている。

これらを踏まえ、授業実践における自立活動の視点を踏まえたICT機器の利活用に関するモデルケースを提案することにより、教員のICT機器の利活用を推進し、幼児児童生徒の資質・能力の向上につながる教育の充実に寄与すると考え、本主題を設定した。

2 質問紙調査の実施と結果の分析

特別支援教育における自立活動の視点に着目し、ICT機器の利活用における課題を明らかにし、その課題解決の一つとして実践事例集作成の基礎資料とするため、質問紙調査を実施した。

調査結果から、ICTを利活用した教育活動への有効性を感じているものの、ICT機器を使うことへの苦手意識や、活用方法等の技術面における課題から、負担を感じていることが分かった。また、校内で相談できなかったり、研修で学んだ内容を生かしきれなかったりといった課題が上がった。

3 実践事例集（骨子案）の作成

今年度は、ICT機器の利活用のための実践事例集の骨子案を作成する。実践事例集の書式（図1）等の検討として、調査研究協力校

における実践等を行い、必要な改善を行う。なお、成果物については冊子ではなく、PDFファイルで作成し、活用を促す。PDFの利点としては、ページ内にリンクを設定することによって、実践事例集の中の興味のあるページにすぐアクセスできたり、関連する資料等をリンク先で確認できたりするなどの利便性が上げられる。

知的に障害のある児童生徒の ICT 機器利活用	
ICT 機器の利活用による学習支援① 通し番号を付ける	
★情報活用能力を支えるタイピング技能の向上	
タイピングのコツをみんなで考えながらスキルアップ！	
特性や障害を記載する 特性や障害を補う利活用を後ずタイトルを付ける ※内容 ・児童生徒への「ICT 機器の利活用について、1 ページで1つの方法を提示する。 ・提示する内容については、教育活動のあらゆる場面を想定して記載する。単発の授業場面を取り上げてもよい。 ・対象の児童生徒について、簡単に記す（校種、学年、段階等）。 ・基本的なレイアウトは示しているが、必要に応じて、多少構成を変更してかまわない。 ・本文のフォントについては、10.5 ポイントの 10 デジタル教科書体 KR-R を用いる。 ※写真・図版① ・記載例は、「写真・図版」を2枚としているが、これにとらわれない。また、それぞれの大きさも自由である。 ・見る者にとって、わかりやすい「写真・図版」を採用する。 ※写真・図版② 全体を通して、自立活動の視点を取り入れた記述を心掛ける。 ◎ICT 機器利活用のポイント① ・使用した機器やアプリ、ソフトなどを提示し、その長所を具体的に説明する。 ・ICT 機器を利活用すると、どのような教育効果があるのか、どのように効率化が図れるのかを記す。 ・初心者や機器の苦手な者が陥りやすい点について、わかりやすく記載する。 ◎ICT 機器利活用のポイント② ◎児童生徒の反応及び指導の効果 ・このメディア集を用いることによって、どのような効果が得られたのかを、児童生徒の反応と教師側の成果の両面から記載する。・課題があるならば、この欄に記載する。	

図1 実践事例集の書式（案）

4 次年度に向けて

ICT機器利活用のための実践事例集を作成することにより、ICT機器の活用を躊躇したり、指導技術に不安があったりする教員にも、ICT機器を利活用した、効果的な指導ができるようになることを考える。

次年度は、調査研究協力校における授業実践等を通して、実践事例集に様々な学校種、障害種における具体的なICT機器利活用の事例等を掲載し、県総合教育センター Web サイトにて公開する予定である。